

平和のつどい「2014 ピースアクション in いばらき」を開催しました

2014年8月2日（土）、水戸市千波町東久保の茨城県民文化センター小ホールにおいて、「2014 ピースアクション in いばらき」が380名の参加により開催されました。茨城県、県教育委員会、水戸市教育委員会、各新聞社、NHK水戸放送局、茨城放送等の後援のもと、実行委員会と協同組合ネットいばらきが主催する平和の行動「ピースアクション」も今年で10回目となりました。

冒頭のあいさつで佐藤洋一代表（茨城県生活協同組合連合会会長）は「長年、平和の大切さ、平和への願いを伝え広げるために平和の集いを続けてきました。今日、こうして多くの方にお集まりいただき、心よりうれしく思っております。」と話し、広島市長・長崎市長のメッセージの紹介。次に、昨年度に広島市に派遣された水戸市平和大使の小、中学生の6人が、平和への思いを書いた作文を披露しました。市立双葉台小の谷津菜菜香さん（6年生）は「原爆を使わない平和な社会を作っていかなければいけない」と訴えた。これを受けて広島で被爆した茨城県原爆被爆者協議会の茂木貞夫さんが「戦争の悲惨さと平和のすばらしさを語り継いでいきたい」と話しました。

二部では、原爆で家族を失った人たちが書いた手記「夏の雲は忘れない」を、高田 敏江さん、大橋 芳枝さん、長内 美那子さん、神保路恵さん、山口 果林さんの6名の女優さんと県立水戸二高放送部員（1年生）が朗読しました。

参加した皆さんからは、「感動した」「涙が止まらなかった」「また来年もやってください」などたくさんのご意見をいただきました。

また、終了後、ロビーにおいて、女優さんと県立水戸二高を交え、ロビー交流会を行いました。



<水戸市平和大使報告>



<佐藤洋一会長挨拶>



<夏の雲は忘れない朗読>



<ロビー交流会>



<夏の雲は忘れない出演者>